

部首がわかると初めての漢字でも読める

漢字は字形が複雑だから難しいと思われがちですが、子供にとっては、だからこそそれだけ記憶する“手がかり”が多く存在するということになります。

この“手がかり”の正体を明かすと、それは“部首”なのです。漢字はそもそも、部品ともいべき“部首”を合理的に組み合わせて作られています。ですから、部首に着目して全体をとらえると、しっかりと記憶にとどまり、忘れることが少なくなります。また、部首について正しい知識があれば、それによって組み立てられている漢字の意味や読み方がほぼ推察できるともいえます。この合理的、科学的な漢字学習法を研究して作りあげたのが「石井式漢字学習法」です。

ちなみに、常用漢字(日常使うものとして、政府が 1981 年に定めた漢字)は全部で 1945 字ありますが、それに使われている部首は 190 あまりしかありません。つまり、190 あまりの部首について正しい知識をもてば、その十倍以上の 1945 字の漢字の意味や読み方を知る手がかりをもつことができるのです。

では、この「部首手がかり法」で、かなり複雑な字形の「整」という漢字の意味や読み方を推察してみましょう。

まず、「整」を大きく分解すると、「束」「女」「正」の三つになります。「束」は“木”と“（縄で木を束ねる形）”を組み合わせた字で、「木の束」を意味します。「女」は“ノ(棒または鞭を表す)”に“又(手を表す)”を加えたもので、「手に棒または鞭を待つ」という意味を表す部首です。そして、「正」は“一(線)”と“止(足の裏の形で、止まるの意味)”を組み合わせた字で、「止まるべき線に止まる」ことを表し、「正しい」という意味を示します。

これら三つの意味から、「木を束ねると、飛び出た所、引っ込んだ所ができて、両端が不揃いになる。そこで、飛び出た所を叩いて引っ込め、両端をきちんと揃うようにする」ことが、「整」だとわかります。また、「整」の読み方は、ソク ボク セイのうち、もっとも重要な意味を表す「正」がこれを表します。

こんなふうに「整」の成り立ちを理解していくと、この字の意味や読み方がとてもわかりやすくなってきます。